

新型コロナウイルス感染症とモンゴル経済¹

モンゴル国家統計局国民経済計算・調査部上級統計学者
ウルジーハンダ・ニャムスレン

要旨

2020年にモンゴル政府が実施した COVID-19対策は、モンゴルの輸出入の減少、国内生産の減少、サービス収益の減少といった著しい経済収縮をもたらし、対前年同期比実質経済成長率は、2020年第1四半期と第2四半期においてそれぞれ10.7%減と9.1%減となり、上半期で9.7%減の景気後退となった。この景気後退は主として、鉱業・採掘業の付加価値が30%減少したことによるものである。前年においてモンゴルのGDPの23.7%は、鉱業・採掘部門によって生み出されたものであった。2020年上半期に、モンゴルは135カ国と貿易を行ったが、総貿易売上高の56.2%は中国との貿易によるものであり、輸出の74.7%は中国への輸出である。当初、2020年の鉱業輸出はモンゴルの予算収入の1/3を生み出すと見積もられていたが、パンデミックによりその実現はほぼ不可能となった。中国経済が停滞し、鉱物需要が減少したため、一般政府歳入は前年比21.4%減少した。中国への鉱物輸出が減少したため、モンゴルの貿易額と一般政府歳入は急激に減少した。一方で、社会保険からの年金給付(17.8%)と福祉からの年金給付(89.7%)などの社会支出が増加したため、歳出が大幅に拡大した。パンデミックの期間中、政府は国民の福祉を志向する政策を追求することが倫理的に求められる。しかし、福祉支出の過度な拡大は国家財政を圧迫し、このことが景気後退をもたらした。したがって、支出に対応して収入を増やす調和のとれた財政政策を続け、財政規律を強化することが肝要である。さらに、財源の備蓄を危険にさらすような政策決定は回避しなければならない。

キーワード：パンデミック、経済依存、政府予算、鉱業部門、輸出、輸入

JEL Classification Codes: A10, E60, F10

1. はじめに

2020年以降、自然災害や感染症の発生をうけて、世界経済の不確実性は高まっている。

この数年、モンゴル経済は冬に経済活動が低迷し、第1四半期に生産、販売、税収が減少するという状況が続いていた。さらに今年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な大流行と、それへの政府の対策が、経済活動の縮小と貿易・生産・サービス収入の減少をもたらした。

モンゴル国家統計局(NSO)は、業務の一環として、企業や国家機関から定期的に総合的な情報や報告書を収集し、社会経済情勢に関する統計情報を毎月発表している。

本稿では、2020年1月27日にパンデミック対策が実施されて以降のコロナ禍中のモンゴル経済の現状について報告する。

2. 鉱業の低迷による景気後退

国際通貨基金(IMF)は、2020年1月レポートで世界全体の経済成長率をプラス3.3%と予測していた。しかし、コロナショックを踏まえた4月レポートで予測を3.0%減のマイナス成長へと修正した。さらに、6月レポートでは、現状を「比類なき危機」と表現し、世界経済成長率の予測をマイナス4.9%へと引き下げた。2021年以降に関しては、世界経済の急速な回復が予測されている(図1)(Richter, 2020)。

アジア開発銀行(ADB)は、2020年6月の『アジア開発展望補足資料』において、COVID-19による世界経済と地域経済への影響のため、今年のモンゴル経済はマイナス1.9%の大幅な経済減速となると予測した(4月予測ではマイナス2.1%)。

2020年第1四半期と第2四半期におけるモンゴル経済の景気後退はそれぞれ10.7%減と9.1%減であり、上半期では9.7%

減となった。これは、鉱業・採掘部門の付加価値が30%縮小した結果である(図2)。

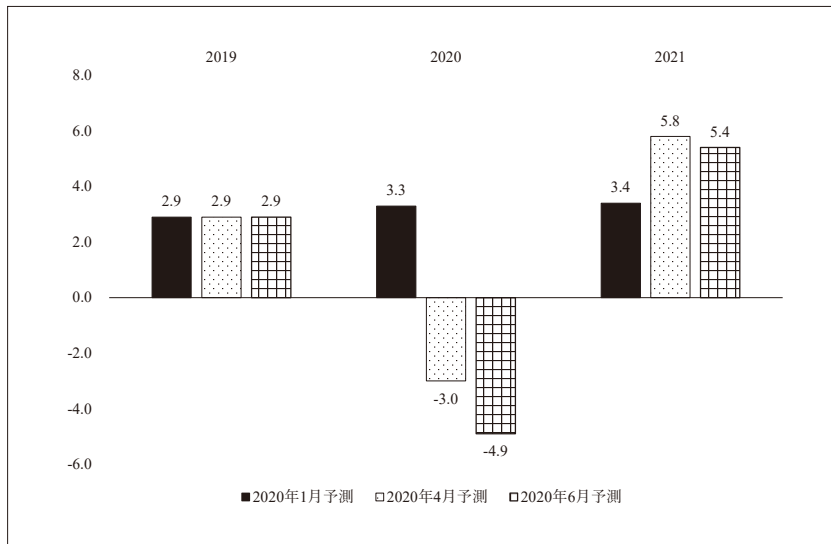
2020年第1四半期における生産の伸び(前年同期比)は、農業と製造業・建設部門において5.8増~14.0%増であったが、その他の部門では6.5減~29.7%減となった。第2四半期では、農業だけが成長部門(13.1%増)となり、それ以外の部門で生産は9.8減~29.2%減少した。ほとんどの部門において、第1四半期から第2四半期にかけて付加価値の減少幅は大きくなったが、鉱業・採掘部門では減少幅が小さくなった。

5月に入ると、鉱業・採掘部門の生産が増加し、輸出が回復したことで、コロナ禍による経済への影響は第1四半期ほどには深刻にならなかった。

2020年第1四半期の季節調整済みGDP(2010年固定価格)は前年同期比6.8%減、第2四半期は同1.1%減となり、上半期において同5.7%減となった(図3)。

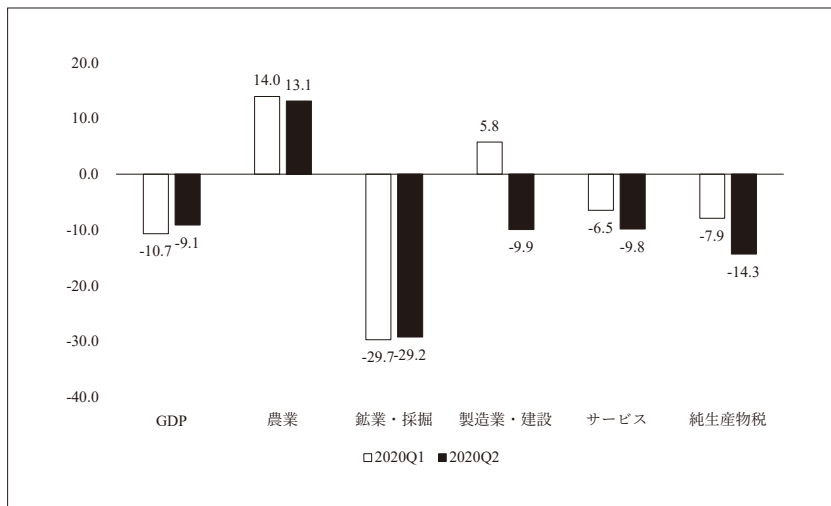
¹ 本稿は、モンゴル国家統計局が刊行している『モンゴル社会経済情勢』に基づいている。本稿に示した結論および勧告は、筆者自身のものであり、筆者が所属する組織としての見解を示すものではない。

図1 コロナショック前後の世界経済成長予測の変化(%)



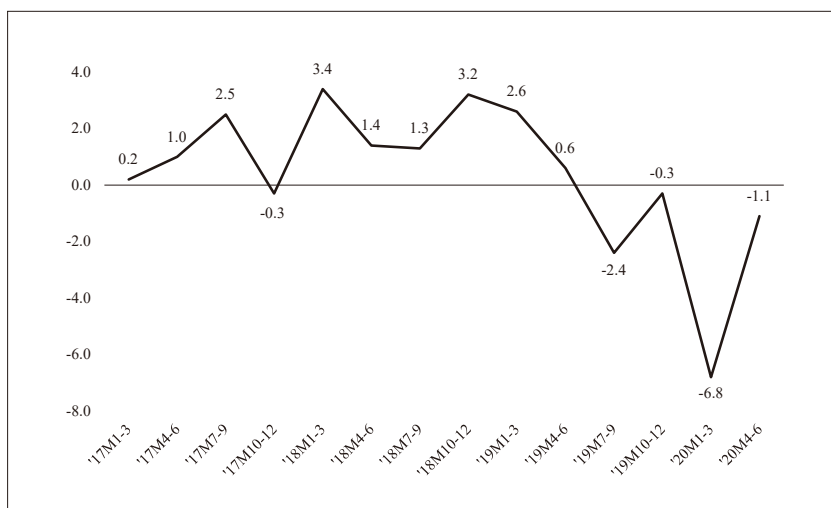
出所: Richter (2020)

図2 モンゴルのGDP・産業部門別の前年同期比成長率(2010年固定価格、%)



出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年7月』

図3 モンゴル経済の対前年同期比成長率(季節調整済み、2010年固定価格、%)



出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年7月』

3. コロナ禍において楽観的すぎる一般政府財政収支予測と危機的な財政状況

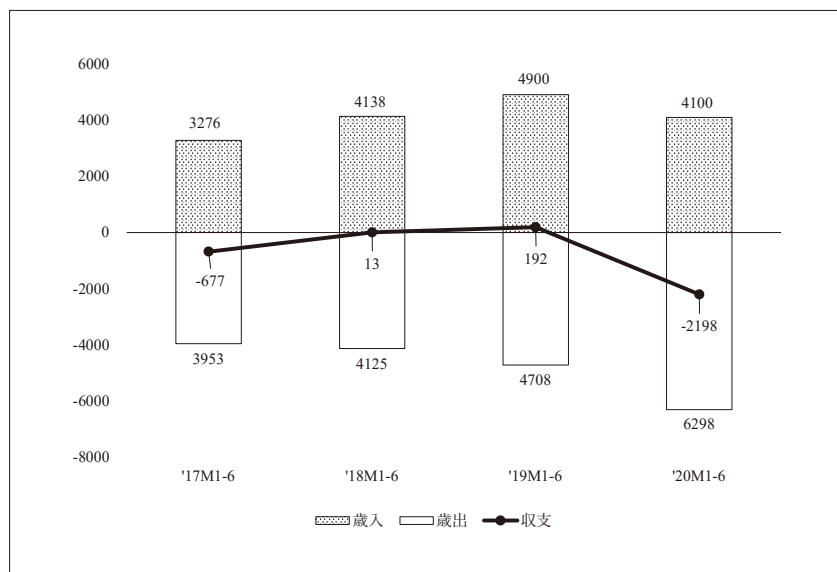
当初、2020年度のモンゴルの一般政府財政収入は、前年よりも1.8兆トゥグルグ増え(16.6%増)、12.9兆トゥグルグになると予測されていた。しかし、上半期の一般財政収入は4.4兆トゥグルグ、前年同期と比べて1.2兆トゥグルグ減少した(21.4%減)。収入の一部を「将来遺産基金」と「安定化基金」に繰り入れた後の財政収入は4.1兆トゥグルグであり、前年同期比で8000億トゥグルグ減少することになる(16.3%減)。

一方、承認された2020年度の一般政府支出は、前年から2.3兆トゥグルグ増えた13.9兆トゥグルグであった。上半期の支出額と純貸出額は合計で6.3兆トゥグルグに達しており、前年同期に比べて1.6兆トゥグルグ(33.8%増)増加した。

当初の見込みでは、2020年度の財政赤字は2.1兆トゥグルグであり、GDPの5.1%の大きさであったが、上半期ですでにGDP比13.1%の規模にあたる2.2兆トゥグルグに達している(図4)。

財政収入の減少は、その85.8%を占める税収の減少による。2020年上半期において、税収総額は3.7兆トゥグルグであり、前年同期に比べて7033億トゥグルグ減少した(15.8%減)。この税収減のうち、所得税の減少分は2229億トゥグルグ(前年同期比19.5%減)、その他の税・徴収が1482億トゥグルグ(同33.5%減)、社会保険料収入が1384億トゥグルグ(同15.0%減)、付加価値税が969億トゥグルグ(同9.2%減)、物品税が619億トゥグルグ(同14.5%減)、外国為替収入が271億トゥグルグ(同7.5%減)であった。所得税の減少は、法人税が前年同期に比べて2144億トゥグルグ減少(同28.5%減)したことによるものであり、その他の税・徴収の減少は、鉱物資源の探鉱・採掘特別許可料が1184億トゥグルグ減少(同47.2%減)したことによる。付加価値税収入の減少は、国産品・サービスの付加価値税が218億トゥグルグ減少し(同4.6%減)、輸入品の付加価値税が568億トゥグルグ(同7.5%減)減少したことが影響している。物品税の減少は、主に自動車物品税の404億トゥグルグ減少(同31.1%減)、

図4 一般政府財政収支の推移(10億トゥグルグ)：各年上半期



出所：モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』
注：歳出額を負値で示した。

国産酒類物品税の224億トゥグルグ減少(同23.1減)による。

一方で、支出面を見ると、経常支出は前年同期比で1.1兆トゥグルグ(同27.5%増)増加し、5.1兆トゥグルグに達した。経常移転支出は5673億トゥグルグ(同37.4%増)増加し、2.1兆トゥグルグに達した。経常移転支出の増加に関しては、社会保険からの年金支出が1771億元(17.8%)増加し、社会福祉年金支出が3000億元(89.7%)増加している。

上半期に一般政府財政に入った法人税と付加価値税は、前年に比べて減少している。これは、国内の生産者・サービス業者が経営破綻に直面していることを示している。2020年上半期において事業登記簿

に登録されている法人の49.2%は活動中であるが、この比率は前年同期から0.8ポイント低下している。2020年上半期に活動中の法人数は、卸売・小売業、自動車・オートバイ整備サービス業、建設業、製造業において9.0~13.3%増加したが、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、不動産業、運輸業、倉庫業では1.8~5.5%減少した。

4. コロナ禍中のモンゴル貿易

2020年上半期にモンゴルは135カ国と貿易を行ったが、貿易総額の56.2%は中国との貿易によるものである。一般政府財政収入の減少は、中国経済の減速による鉱物需要の減少の結果であった。2020年

上半期の貿易額は、前年同期から15億ドル(前年同期比22.6%減)減少し、53億ドルとなった。この貿易額の減少分のうち、14億ドル(同40.7%減)は対中輸出の減少であり、7210万ドル(同7.7%減)は対中輸入の減少である(モンゴル貿易統計、2020年7月)。モンゴルの貿易において、中国は輸出の74.7%、輸入の34.9%を占めている。一方、日本が占めるシェアは総額が3.8%、輸出0.2%、輸入7.9%である(表1)。

2020年上半期の輸出全体の71.4%は鉱物で、中国向け輸出の31.2%が石炭、35.1%が銅であった。輸出は前年同期比で28.2%減少したが、これは主として銅精鉱の輸出が30.2%、石炭の輸出が55.2%減少したことによる(図5)(モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢』、2020年6月)。

5. 工業製品輸送の回復

モンゴルは現在も検疫体制を継続しているが、貨物輸送や鉱物資源の輸出は安定的な経済循環の維持にとって重要であるため、国境封鎖を一部解除した。また、中国経済が予想以上に早く回復していることもあり、鉱物輸出が回復しつつある。

2020年上半期の道路輸送量は840万トンであり、貨物の84.5%にあたる710万トンは鉱業製品であった。この期間に、道路(貨物)輸送量は、前年上半期から1050万トン減少し(55.5%減)、2020年第2四半期には第1四半期に比べて220万トン(69.4%)増加した(表2)。

2020年上半期の道路貨物輸送収入は、前年同期比1511億トゥグルグ減(45.0%減)の1848億トゥグルグとなった。2020年第2四半期の運輸収入は第1四半期に比べて129億トゥグルグ増加した(15.1%増)。

2020年上半期の鉄道輸送量は、前年同期比130万トン増(9.9%増)の1450万トンとなった(図6)。鉄道貨物輸送に占める鉱物の比率は85.8%であった。

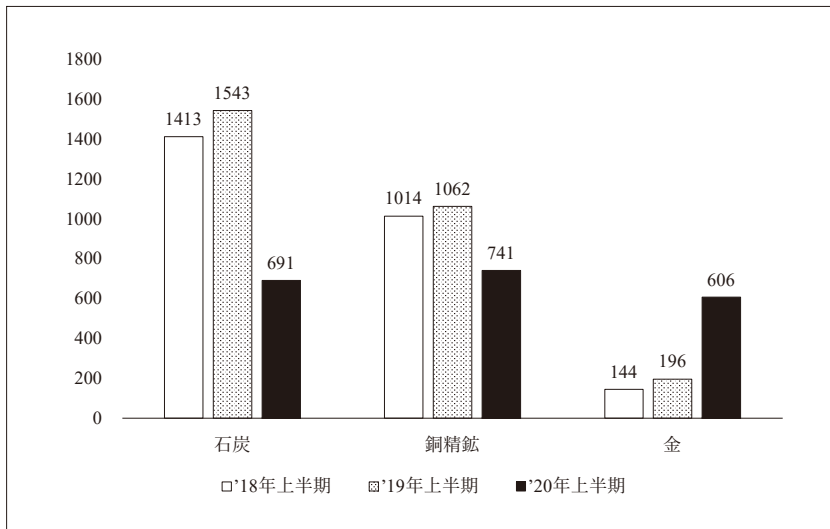
2020年上半期の鉄道輸送収入は、前年同期比297億トゥグルグ増(8.8%増)の3662億トゥグルグとなった。また、2020年第2四半期において第1四半期に比べて181億トゥグルグ増加した(10.4%増)。この増加は主に鉄鉱石、蛍石、石炭などの鉱業製品の輸送が増加したことによる。

表1 2020年上半期の貿易と主要パートナー

	貿易総額		輸出		'20年上半期/'19上半期	輸入		'20年上半期/'19上半期
	100万米ドル	構成比(%)	100万米ドル	構成比(%)		100万米ドル	構成比(%)	
総計	5288.4	100.0	2828.3	100.0	71.8	2460.1	100.0	85.0
中国	2973.2	56.2	2113.5	74.7	59.3	859.7	34.9	92.3
日本	199.8	3.8	4.4	0.2	86.6	195.4	7.9	62.8
シンガポール	82.5	1.6	74.8	2.6	4.3 ¹	7.7	0.3	76.5
イギリス	84.8	1.6	70.3	2.5	32.2	14.5	0.6	92.3
ロシア	699.4	13.2	24.4	0.9	66.6	675.0	27.4	87.8
その他	1248.7	23.6	540.9	19.1	5.7 ¹	707.8	28.8	82.7

出所：モンゴル貿易統計(2020年7月)

図5 モンゴルの主要な鉱物輸出(100万米ドル)



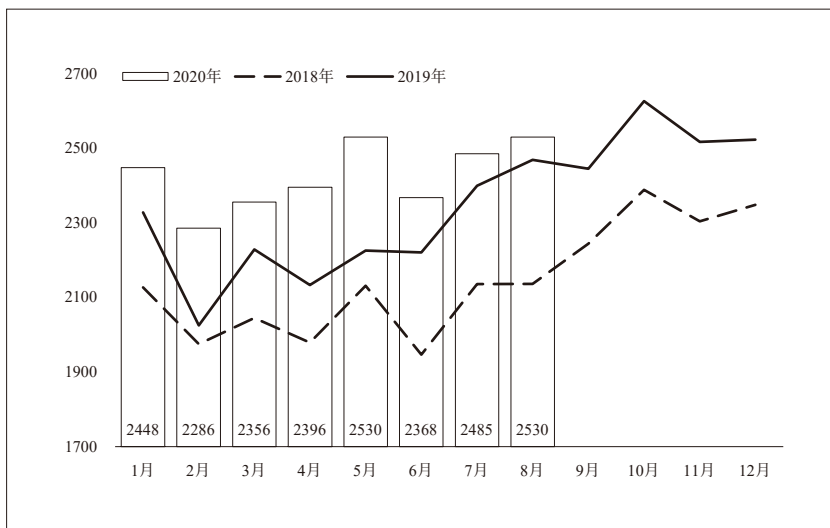
出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』

表2 主要な道路輸送指標

	'17年 上半期	'18年 上半期	'19年 上半期	'20年 上半期	'20年上半期/ '19上半期
貨物輸送、100万トン	17.7	20.3	18.9	8.4	44.4
内、鉱物	15.2	17.2	16.1	7.1	44.1
輸送収入、10億トゥグルグ	272.6	332.5	335.9	184.8	55.0

出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』

図6 鉄道貨物輸送(月別、1000トン)



出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』

6. モンゴル通貨の減価

モンゴル中央銀行による金購入の増加は、外貨準備高の積み増しと自国通貨の安定性の確保にとって極めて重要である。

中銀は、2020年上半期において前年同期の水準を大幅に上回る10.8トンの金・貴金属を購入した(図7)(モンゴル中央銀行、2020年)。

中央銀行は金輸出企業と協力して外

貨流入を増加させるように努めており、2020年上半期の金輸出は前年同期比で2.4倍に増加した。これに対して、2020年上半期の金採掘量は、前年同期比42.4%増であった。輸出が増加した主な要因は、COVID-19検疫体制の強化と国境封鎖により、金の密輸ができなくなったことにあると考えられる。

2019年末の外貨準備高は、前年末比7億9950万ドル増の43億ドルとなった。これにより、輸出の減少や外貨流入の鈍化に伴う現地通貨の急激な下落を防いでいる。2020年6月末には、外貨準備高は年初から18.2%減少、前年同期から13.3%減少して36億ドルとなった。外貨準備高が減少しているため、輸出を増やして外貨流入を改善する必要がある。

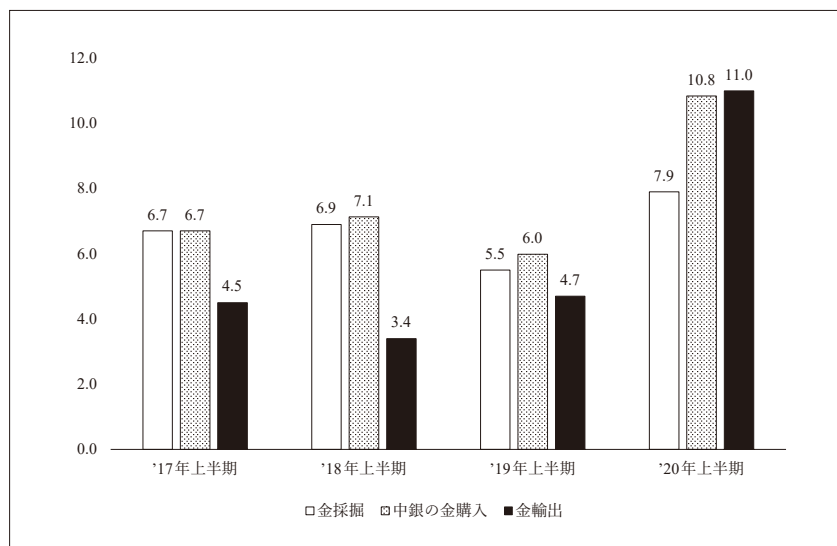
自国通貨への国民の信頼は、通貨の安定性に直接影響する。昨年末の外貨預金額は、預金全体の23.9%を占めていたが、2020年6月には4.4ポイント上昇して28.3%となった。2020年6月末の外貨預金額は4.3兆トゥグルグで、前月から3382億トゥグルグ(8.5%)増加し、前年同期からは1.4兆トゥグルグ(47.1%)増加した。預金に占める外貨預金の割合が増加していることは、個人や企業の自国通貨への信頼感が弱まっていることを示している(図8)。

モンゴル中央銀行が発表した2020年6月の月平均為替レートは前月比0.7%安の2816.26トゥグルグ/ドルとなった。また、人民元に関しては397.58トゥグルグ/円で、前年同期比3.4%安、前月比1.0%安となった。ロシア・ルーブルに関しては、40.62トゥグルグ/ルーブルであり、前年同期比1.9%高、前月比5.9%安となった。

7. 結論

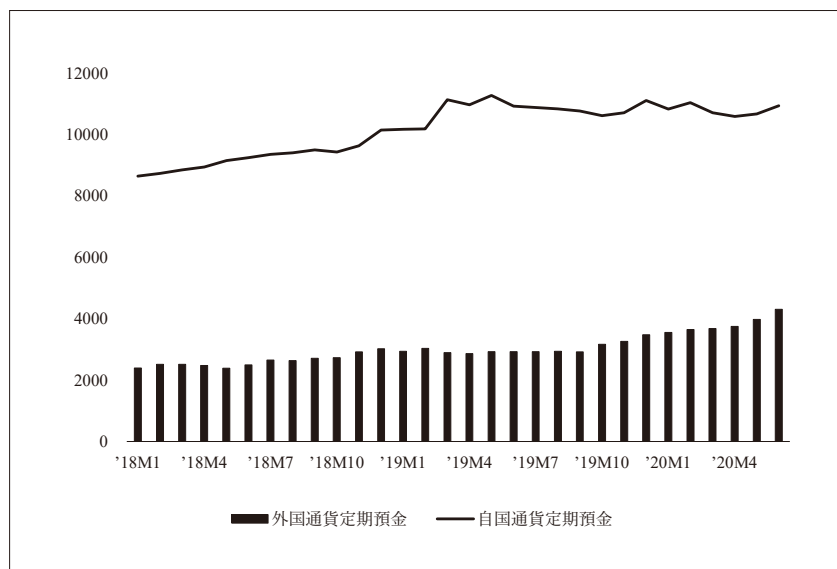
2020年4月において、アジア開発銀行は、今年のモンゴル経済の成長は2.1%減となると予測していた。しかし、その2カ月後には予測を1.9%減へと修正した。中国経済の回復が予想よりも早かったことで、モンゴルの輸出が回復している。しかし、これはモンゴル経済が回復しているということ意味するのではなく、危機がこれ以上深刻化しないということ意味している可能性がある。

図7 金の採掘、中銀による購入、輸出(トン)



出所: モンゴル貿易統計(2020年7月)、モンゴル国立銀行(2020年8月)、モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』

図8 本国通貨・外貨による預金の推移(月末、10億トゥグルグ)



出所: モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』

歳入が減少しており、予定額に達していないため、予算を修正する必要がある。2020年度予算として1.0兆トゥグルグの赤字が承認されたが、上半期の時点ですでに赤字額は2.2兆トゥグルグに達している。今次のようなパンデミックの際には、政府による国民本位の社会福祉政策の実施は、倫理的に正しい。しかし、過剰な福祉拡大は国家財政に大きな負担をかけ、経済成長を鈍化させる可能性がある。したがって、調和のとれた財税政策を続け、支出とバランスがとれるように所得を増やし、財政規律の順守を強化することが極めて重要である。また、予算財源の備蓄を危険にさらすような追加的な決定をしないことが必要である。

はっきりとしているのは、コロナ禍は、一国に依存した、さらには一商品に依存した国を危機的な状況に追い込んでいくことである。対中鉱物輸出の減少は、モンゴルの貿易を急激に縮小させ、一般政府財政収入に大きな混乱をもたらしている。2020年5月以降、中国への鉱物の輸出は回復しており、採掘部門の回復に前向きな期待感が生まれており、対外貿易状況は前月よりも改善すると予想されている。

中央銀行は本国通貨の安定性を保つために、また外貨不足を防ぐために金を購入しているが、外貨準備が限られているため、輸出を増やし、外貨流入を改善することが極めて重要である。国民や企業の本国通貨への信頼が弱まっており、外貨建て定期預金の増加は本国通貨安につながっている。

[英語原稿をERINAにて翻訳]

<参考文献>

Richter, F. (2020, June 25). *IMF Slashes Forecast Amid "Crisis Like No Other"*. Retrieved from Statista: <https://www.statista.com/chart/21397/global-gdp-growth-forecasts-before-and-during-the-covid-19-pandemic/>

アジア開発銀行『アジア開発展望補足資料』:ADB (2020, June). *Asian Development Outlook Supplement*. Retrieved from <https://www.adb.org/sites/default/files/publication/612261/ado-supplement-june-2020.pdf>

モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年6月』(2020年6月):NSO (2020, 6). *Socio-Economic Situation of Mongolia*. Retrieved from Mongolian Statistical Information service: https://1212.mn/BookLibraryDownload.aspx?url=Bulletin_2020_6_mn.pdf&ln=Mn

モンゴル国家統計局『モンゴル社会経済情勢 2020年7月』(2020年7月): NSO (2020, 7). *Socio-Economic Situation of Mongolia*. Retrieved from Mongolian Statistical Information service: https://1212.mn/BookLibraryDownload.aspx?url=Bulletin2020_07_mn.pdf&ln=Mn

モンゴル国立銀行:Bank of Mongolia (2020, 8 28). *Bank of Mongolia Purchased Gold*. Retrieved from Bank of Mongolia: <https://www.mongolbank.mn/dblistgoldbom.aspx>

モンゴル貿易統計:GAC (2020.07). *Foreign Trade Statistic*. Retrieved from Statistic information system of GAC: https://customs.gov.mn/statistics/index.php?module=users&cmd=info_st